

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。また、必要なときは読めるように大切に保管してください。



2014年5月改訂 (記載要領変更に伴う改訂)

玄妙は天然生薬の有効成分を配合した製剤です。本剤を患部に貼りますと十数分後に温熱を感じ、皮膚局所に浸透し血行を促進してこりやいたみをやわらげる貼り薬です。

**使用上の注意**

- してはいけないこと**  
 (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)  
 次の部位には使用しないでください  
 (1) 目の周囲、粘膜等。  
 (2) 湿疹、かぶれ、傷口。

**相談すること**

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (1) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (2) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (3) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (4) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (5) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (6) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
 (7) 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 薬などにアレルギー症状を起こしたことがある人。  
 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 5〜6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、痛み

**【効能又は効果】**

神経痛・ロイマチス・関節炎・腰痛・肩のこり・冷感性・うちみ・くじきの消炎鎮痛に効あり

\*ロイマチスとは、リウマチのことです

**【用法及び用量】**

疾患により適宜の分量を容器にとり、本品20gに対し50mlの割合にて水を加え、充分練り合わせ布片に5mmの厚さにて患部の広さに伸ばして貼付する。貼付後10分間位経過すると温熱を発起し奏功する。薬が水分を失いたるときは、さらに新しく貼り換える。貼り換えは朝夕2回を限度とする。温熱を強く感じるときはガーゼの上から、又はウドン粉で薄めて貼付する。

**【用法用量に関する注意】**

- 小児に使用させる場合は、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- 貼った患部をコタツや電気毛布等で温めないでください。
- 薬がしみでて衣服をよごさないように、布等を多めに止めてください。
- 小児、皮膚の弱い人又は温熱を強く感じる人は、和紙等で薬をサンドイッチのように挟み込んで貼付してください。
- 薬の使用中に入浴するとしみますので、一時間くらい前に取り去っておいてください。
- 玄妙を塗布した上に油紙を用いる事は薬の作用を減退させますので用いないでください。
- 薬を貼付した箇所が少し色が付く事がありますが、1週間位で自然に取れますので心配ありません。

**【成分含量】**

日本薬局方	
オウバク末	26.6g
カンフル	1.3g
トウガラシ末	26.6g
ショウキョウ末	9.8g
サンシ末	6.6g
ハッカ	6.6g
薬用炭	26.6g
日本薬局方外	
楊梅皮(ヨウバイヒ)末	9.3g
蚕沙(サンシャ)末	6.6g
(120g中)	

**【保管及び取扱上の注意】**

- 玄妙は湿気を嫌いますので、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密封して保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください

**【玄妙の使用法】**

**【溶き方】** ボール等の容器に大きじ〜二杯の薬(約20g)を入れて水を少しずつ加え、耳たぶくらいの硬さになるまで充分練り合わせてください。  
**【張り方】** 練り合わせた玄妙を布片又は和紙に5mm位の厚さの患部の広さに伸ばし貼ってください。貼った玄妙が動かないよう包帯又は布テープ等で止めてください。

**【玄妙貼付参考図】**

神経痛、ロウマチス、関節炎の場合には脊髄とその他痛む場所へ貼付する。  
 神経痛、ロイマチスによく摩擦して置いてから貼付すると一層効果がある。  
 肩のこりには脊髄と片に貼付する。  
 腰痛にはその痛む所に広めに貼付する。  
 うちみ、くじき等の際は、何れもその患部へ貼付する。  
 冷感性には脊髄と腰に貼付する。

製造販売元

**株式会社玄妙洞本舗**

群馬県前橋市六供町1097

(玄妙についてのお問い合わせは、弊社までご連絡下さい。)  
 電話：027(265) 28333  
 [月〜金曜日/10:00〜17:00 (祝祭日を除く)]

副作用被害救済制度 電話0120(149)931